

平成30年度 学校経営方針

生き生きと心ゆたかに活動する子ども達の育成をめざして

- ◆ 教育目標の達成に向けて、教職員一人一人の創意を結集し、子どもたちが生き生きと心豊かに活動する魅力ある学校づくりを目指す。
- ◆ 「子どもの成長した姿」を通して、学校は保護者や地域から信頼を得ることを常に意識して子どもたちの指導・支援に当たる。

そのために以下の3点について、特に配慮して教育活動に当たる。

1 安全・安心な学校づくり

(1) 最悪を想定した事前の事故防止策の徹底

- 安全研修、行事の安全対策、リアル避難訓練

(2) 潤いのある環境づくり

- スクールガーデンや芸術作品に囲まれた学校づくり

(3) 一人一人の困難さに対応した合理的配慮の提供

- 困難さの理解、個別の教育支援計画への明記、対応策の提供

2 専門性の向上

(1) 障害理解の充実

- 障害の病理や行動特長などの基本研修
- コーヒーミーティング(小グループ)による事例分析

(2) 「できる力」を育て活用する授業研究

- 校内検定(指導・評価の一体化)の開発と活用を図る授業づくり
- 理論に裏打ちされた授業実践とポスターによる魚沼特別支援教育学会の発表

(3) ICTを活用した授業の推進

- タブレットなどを使って一人で学習したり、行動したりする取組など

3 関係機関との連携

(1) 保護者・学園、関係機関との連携

- 保護者・学園との日々の情報交換と共通理解を図った取組
- 福祉・労働・医療機関と連携を図って進める生徒指導・進路指導

(2) 地域との連携

- 教科学習などを中心にした交流及び共同学習の推進
- 魚沼地区特別支援学校連絡協議会を通じた学校間連携
- 地域及び社会への積極的な情報発信

(3) センターの機能の発揮

- 地域の相談ニーズに対応した地域支援(幼少期へのサポート重視)